

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 北区

学 校 名 堀川小学校

学校長名 衣笠 博政

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・堀川小学校では、第6学年138名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数ともに大阪市平均・全国平均を大きく上回ることができた。
平均正答率は、全国平均と比べ国語が8.3ポイント、算数が11.6ポイント上回っている。
平均無解答率は、全国平均と比べ国語が3.1ポイント、算数が2.2ポイント下回っており、特に国語科においてあきらめずに粘り強く問題に取り組むことができている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習指導要領の内容「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」「(2)情報の扱い方に関する事項」「(3)我が国の言語文化に関する事項」「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」のすべてで全国平均を上回ることができた。特に「(3)我が国の言語文化に関する事項」が14.5ポイント、「C読むこと」が10.2ポイント全国平均を上回った。児童質問紙「国語の授業の内容はよく分かりますか」の肯定的回答が92.6%であることから、国語への関心が高く、また授業も充実していることが数字にあらわれている。日常の学習で、自分の考えをペアやグループで交流し、深めていく学習を各教科で進めており、その積み重ねが結果につながっている。

〔算数〕

学習指導要領の領域「A数と計算」「B図形」「C変化と関係」「Dデータの活用」のすべてで全国平均を上回ることができた。特に「C変化と関係」の領域が14.4ポイント、「B図形」の領域が14.3ポイント全国平均を上回った。「堀川の算数」として、学習の進め方を全学年で統一しており、「考え方を書くこと」「考えを交流すること」を低学年から少しずつ続けている。問題を把握する力と考えを表現する力がつながり、それが結果につながった。

質問調査より

「国語・算数の授業の内容はよく分かる」「新聞を読んでいる」「ICT機器を勉強のために使っている」「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」などの項目は、肯定的な回答が全国平均を上回った。研究や研修を重ねて授業改善を行ったり、読書に関わる取り組みを行ったり、夢や目標に向かってがんばることの大切さを様々な場で伝えてきたりするなど、これまでの取り組みの成果が肯定的な回答につながった。

「友だち関係に満足している」「困りごとや不安がある時に、大人にいつでも相談できる」などの項目は、肯定的な回答が全国平均を下回った。今後、学習面だけでなく、友だちとの関わりやつながりについても意識をして、取り組みを進めていくようにする。また学校だけではなく、家庭とも連携を図りながら、子どもに寄り添いながら丁寧に関わっていく。

今後の取組(アクションプラン)

- ・ 普段の授業から課題に対する考えを書き、ペアやグループで交流することによって考えを広げ、深める活動や考えを短くまとめて書く活動を各教科で取り入れている。また授業の最後には、振り返りを自分の言葉で書く時間を設けている。今後も、これらの活動に継続して取り組んでいく。また、すべての子どもにとって分かりやすい指導をめざし、これからも全教職員で研究や研修を積み重ね、授業改善に取り組んでいく。
- ・ 学習したことが実生活に役立つことを実感できるように他教科、領域とも関連付けて指導を行う。
- ・ 子どもたちにとって「楽しい学校」「楽しい行事」になるように、行事の方法や内容、取り組み方を工夫することで、達成感・成就感を味わわせるようにする。
- ・ 調べ学習や家庭学習、自主学習など様々な場で積極的にICT機器を活用し、学びをより深めていくようにする。

【 全体の概要 】

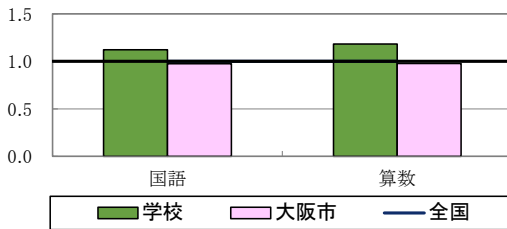
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	76	75
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

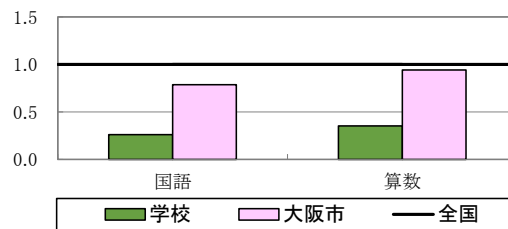
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.1	1.2
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



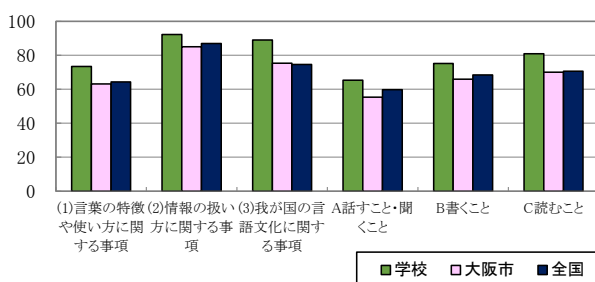
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	73.4	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	92.2	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	89.1	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	65.4	55.3	59.8
B 書くこと	2	75.2	65.9	68.4
C 読むこと	3	80.9	70.1	70.7

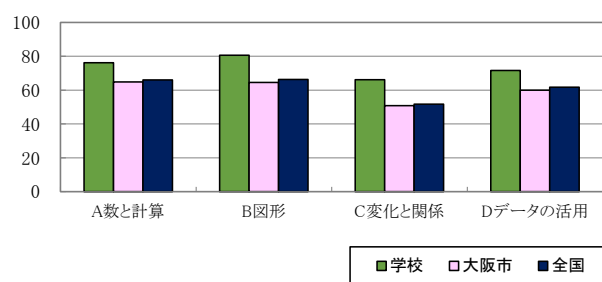
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	76.2	64.8	66.0
B 図形	4	80.6	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	66.1	50.8	51.7
D データの活用	4	71.7	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

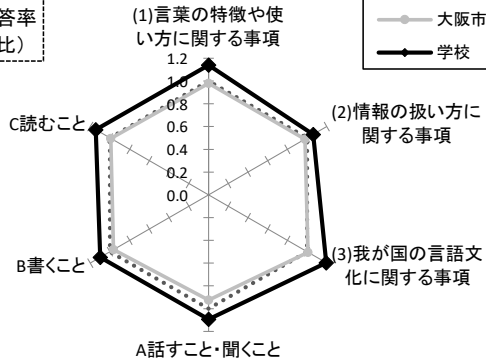


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



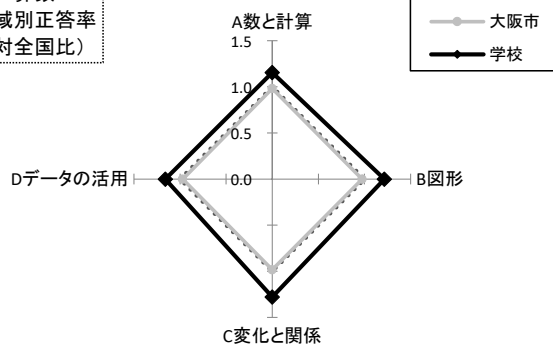
国語

内容別正答率
(対全国比)



算数

領域別正答率
(対全国比)



児童質問より

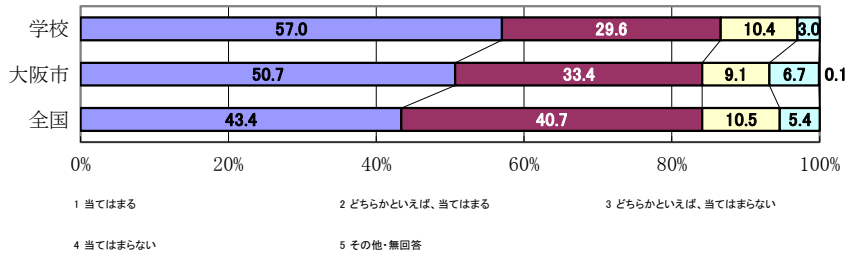
質問番号

質問事項

9

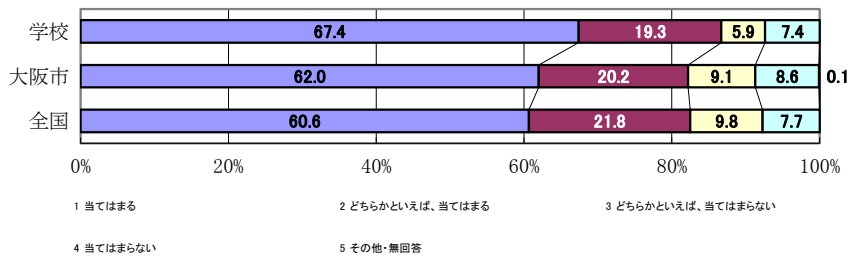
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



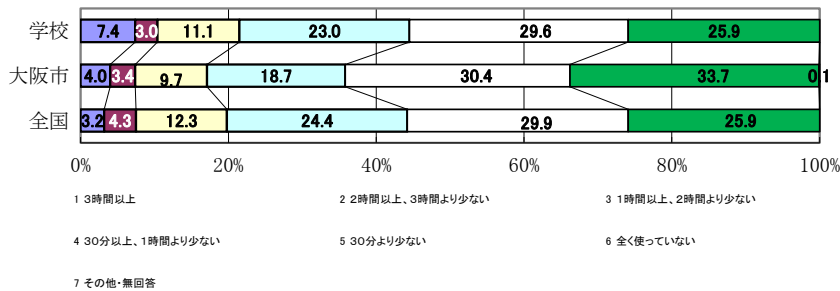
11

将来の夢や目標を持っていますか



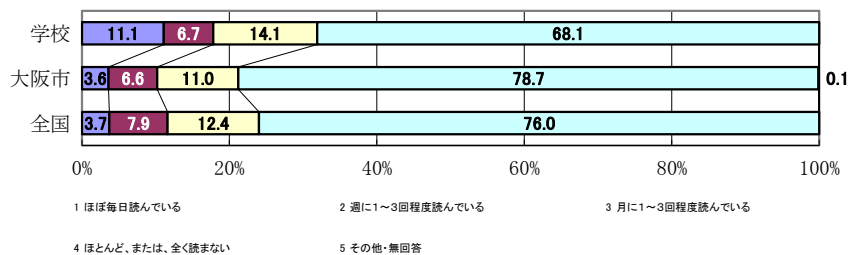
4

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



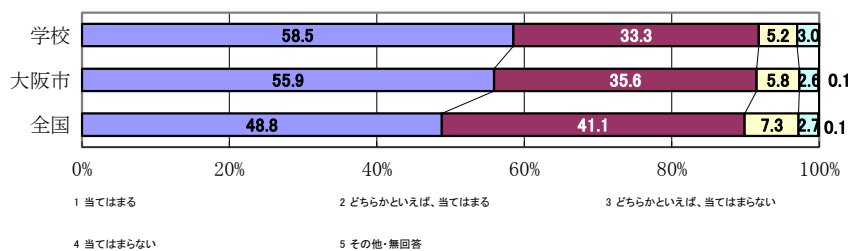
24

新聞を読んでいますか



10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



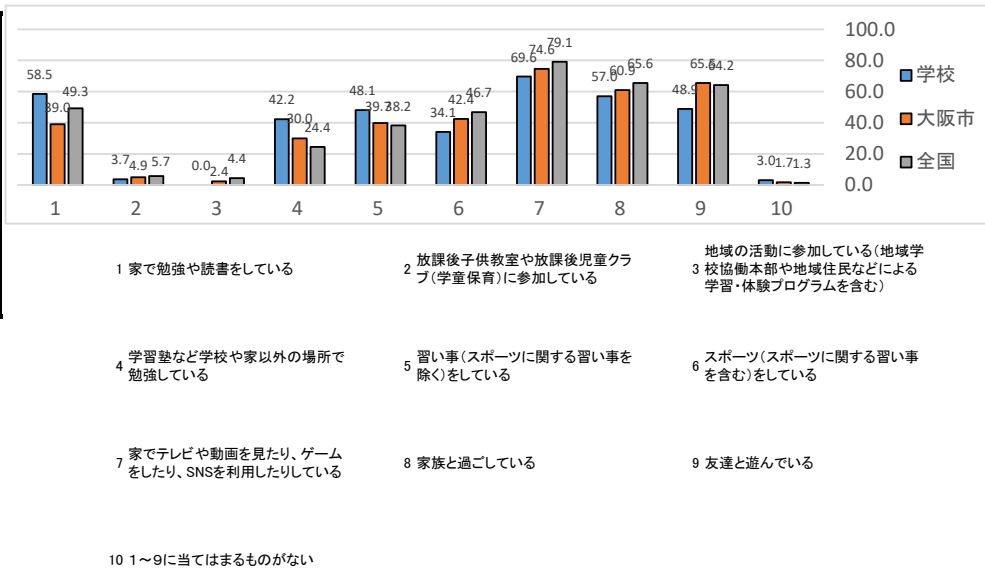
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして
過ごすことが多いですか
(複数選択)



学校質問より

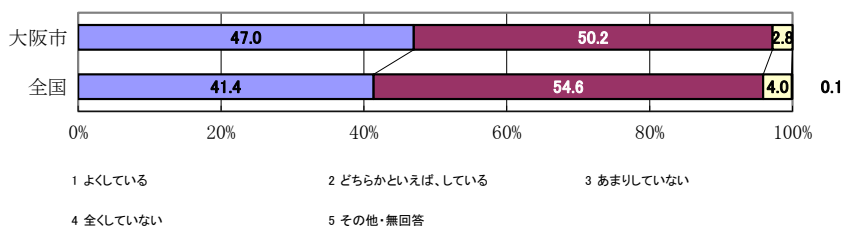
質問番号

質問事項

15

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

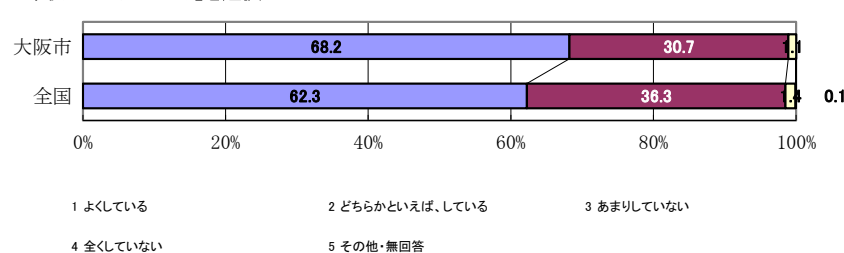
学校 「よくしている」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

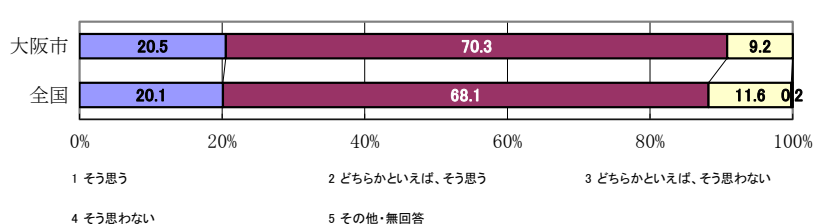
学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

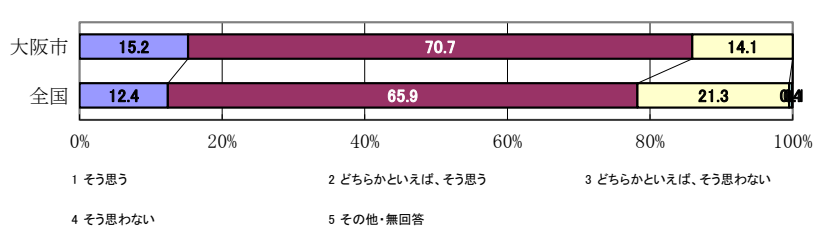
学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択

